

第2学年国語

	①	②	③									
評価の観点	知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度									
目標	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	ことばを通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して、自己を向上させ、ことばを適切に使うようにする。									
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実力テスト ・漢字テスト ・聴くテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・実力テスト ・漢字テスト・聴くテスト ・プレゼンテーション、ディスカッション、スピーチ(発表、聴く態度、書く) ・振り返りシート、読書カード ・ノート等の感想 ・各種作文(少年の主張・夏休み作文等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(挙手による発表・忘れ物の状況・課題に取り組む態度) ・宿題、提出物(期限を守り丁寧に取り組んでいるか) ・スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション ・作文、レポート ・ノート、ワーク ・振り返りシート、読書カード 									
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で行う漢字テストの予習をすること。 ・音読はすらすらと読めるまで繰り返し練習すること。 ・ワークには一問ずつ時間をかけて丁寧に取り組み、答え合わせをする際は解説にも目を通すこと。 												
指導計画												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
<ul style="list-style-type: none"> ・『名づけられた葉』 ・『セミロングホームルーム』 ・敬語の意味と種類 ・グループディスカッション ・『じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか』 ・『人間は他の星に住むことができるのか』 ・手紙・メール(書く) ・言葉のはたらきとコミュニケーション ・『短歌の世界』 ・用言の活用 ・『壁に残された伝言』 					<ul style="list-style-type: none"> ・『一〇〇年後の水を守る』 ・上位語・下位語 ・プレゼンテーション ・『枕草子・徒然草』 ・『平家物語』 ・『漢詩の世界』 ・熟語の構成・熟字訓 ・情報・投稿文(書く) ・助詞・助動詞 				<ul style="list-style-type: none"> ・『大阿蘇』 ・類義語・対義語・多義語 ・『小さな手袋』・創作文(書く) ・ビブリオバトル ・『動物園でできること』・論説文(書く) ・熟語の読み ・『走れメロス』 ・情報誌(書く) 			

